

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	老年看護学援助論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	西野 光子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
健康障害をもつ高齢者の看護をどのようにどのように提供するのか、その方法について具体的な事例を通して、看護実践のあり方を学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
終講試験にて評価						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 専門Ⅱ 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 老年看護 病態 疾患論 ナーシンググラフィカ 老年看護学 老年看護の実際 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 老年看護学 高齢者の健康と障害 メディカ出版						
《授業外における学習方法》						
講義の復溜と予習 復習の確認のため、小テストの実施						
《履修に当たっての留意点》						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	高齢者の生理的特徴について述べられる。	テキスト 講義資料	講義の振り返り レポート課題	
		各コマに おける 授業予定	高齢者の生理的特徴 老化と寿命・認知や知覚機能、呼吸循環、代謝排泄、免疫、運動機 能の変化			
第 2 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	検査や手術を受ける高齢者の看護について述べられる。	テキスト 講義資料	講義の振り返り レポート課題	
		各コマに おける 授業予定	治療を受ける高齢者の看護① おもに急性期疾患に不随する症候と看護 検査・手術を受ける高齢者の看護			
第 3 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	高齢者の慢性疾患の看護について述べられる。	テキスト 講義資料	講義の振り返り レポート課題	
		各コマに おける 授業予定	治療を受ける高齢者の看護② おもに慢性期疾患に不随する症候と看護			
第 4 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	おもにADL低下に合併する症候と看護について説明できる。	テキスト 講義資料	講義の振り返り レポート課題	
		各コマに おける 授業予定	治療を受ける高齢者の看護③ おもにADL低下に合併する症候と看護			
第 5 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	回復期にある高齢者の看護について述べる事ができる。	テキスト 講義資料	講義の振り返り レポート課題	
		各コマに おける 授業予定	回復期にある高齢者の看護 回復期にある高齢者の特徴 リハビリテーションを受ける高齢者の看護			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の食生活や食事に関するアセスメントについて学び、食事や栄養に必要な看護を説明できる。	テキスト 講義資料	講義の振り返り レポート課題
		各コマにおける授業予定	高齢者の生活機能を整える看護① 食生活のアセスメント・栄養スクリーニング		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の排泄に関するアセスメントをして、必要な看護を述べるができる。	テキスト 講義資料	講義の振り返り レポート課題
		各コマにおける授業予定	高齢者の生活機能を整える看護② 排泄に関するアセスメントとケア		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者に生じやすい清潔に関する健康問題や生活リズムについて説明することができる。	テキスト 講義資料	講義の振り返り レポート課題
		各コマにおける授業予定	高齢者の生活機能を整える看護③ 高齢者に生じやすい清潔に関する健康問題と看護・生活リズム		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			